

繁多川公民館



〒902-0071 那覇市繁多川 4-1-38
TEL 917-3448 FAX 835-4903

利 用 施 設 の ご 案 内



《 2 階 》



《 3 階 》

部 屋 名	収 容 人 数	用 途 (備 品)
ホール	200名程度	講演会・研修会・発表会(ピアノ・イス・テーブル)
和 室	30名程度	茶道・生け花・和裁・着付け・舞踊(テーブル・姿見)
ロビー		談話・学習スペース(イス・テーブル)
研修室1	40名程度	研修会・講座・会議(イス・テーブル)
研修室2	25名程度	研修会・講座・会議(イス・テーブル)
実習室	25名程度	調理実習・研修会・講座・会議 (調理用器具・イス・テーブル)

I 繁多川公民館の沿革

「那覇市社会教育施設整備計画」(平成5年2月)に基づいて、那覇市で7番目の公民館として計画された繁多川公民館は、繁多川・真地・識名地区の生涯学習の拠点として、平成15年12月22日に建設が着手され、翌年の平成16年11月25日に竣工した。

施設の設計にあたっては、地域の方々の参加により開催されたワークショップの結果や、建設準備委員会からの要望を元に検討した結果、施設全体を段差のないつくりとし、広いエレベーターや階段対応のリフトを設置したユニバーサルデザインを採り入れた施設になっている。

周辺の環境整備に関しては、建設前の既存の木々を可能な限り残してみどりを確保するとともに、施設前や屋上に芝生の広場、屋上菜園等を設け施設の緑化に努めている。

また、大きな窓で採光を図るほか、屋上に降った雨を地下のタンクに貯水し、施設内のトイレ洗浄や散水に活用する等、環境に配慮した設計がなされている。

平成17年1月5日 社会教育・スポーツ課 開館準備グループ(主査 田島壽博、主査 名渡山桂子、主査 平良尚子、主任主事 上江洲寛)で開館準備を進めるなか、業務の一部をNPO法人なはまちづくりネット(代表 田端温代)に委託された。

2月10日 館長 田島壽博が発令された。

4月1日 那覇市繁多川公民館が発足された。

4月2日 繁多川公民館及び図書館の開館式が行われ、利用団体・サークルへの公民館施設の提供が開始された。

6月7日 開館記念講座「琉球漢詩とゆんたく話と詩吟」が開催された。

平成18年4月13日 繁多川公民館利用団体連絡協議会設立総会が開催された。

11月25日 第1回繁多川公民館まつり前夜祭(ダンスパーティー)が開催された。

11月26日 第1回繁多川公民館まつり開催。舞台発表や作品展示、活動紹介などが行われた。

平成19年4月1日 館長 田島壽博が配置替えにより、館長 宇根克が発令された。

11月24日 11月24日、25日の両日にわたって、第2回繁多川公民館まつりが開催された。

平成20年4月1日 委託期間の満了に伴う新規受託団体の企画提案書審査の結果、NPO法人なはまちづくりネット(代表 大城喜江子)への一部業務委託を継続することになった。

平成22年11月2日 第63回優良公民館として文部科学大臣表彰を受ける。

平成23年4月1日 館長 宇根克が配置替えにより、館長 新垣絹代が発令された。

平成23年4月1日 委託期間の満了に伴う新規受託団体の企画提案書審査の結果、NPO法人なはまちづくりネット(代表 大城喜江子)への一部業務委託を継続することになった。

平成25年3月28日 第14回「朝日のびのび教育賞」を受賞する。

4月1日 館長 新垣絹代が退職により、館長 高吉情次が発令された。

平成26年4月1日 委託期間の満了に伴う新規受託団体の企画提案書審査の結果、NPO法人1万人井戸端会議(代表 南信乃介)へ一部業務委託をすることになった。

平成27年4月1日 指定管理者導入により、新規受託団体の企画提案書審査の結果、NPO法人1万人井戸端会議(代表 南信乃介)への指定管理者が決定する。

令和2年2月14日 第72回優良公民館として文部科学大臣表彰と相互評価特別賞を受ける。

令和3年1月吉日 第8回「全国公民館報コンクール 銀賞」を受賞する。

Ⅱ 令和6年度繁多川公民館事業目次

1	学習風景（写真）	161
2	成人一般対象事業	
〔1〕	市民講座	
	◇今知りたい社会で話題になっていること	162
〔2〕	健康講座	
	◇ZUMBAでエクササイズ	163
3	高齢者対象事業	
〔1〕	高齢者学級	
	◇スマートフォン体験講座	164
4	青少年対象事業	
〔1〕	少年教室	
	◇はんたがわプレーパーク	165
〔2〕	青年講座	
	◇おたすけ隊&インターシップ受け入れ	166
5	家庭教育事業	
〔1〕	家庭教育学級	
	◇繁多川おやこそだて園	167
6	その他の事業	
〔1〕	地域連携事業	
	◇あたいぐわプロジェクト	168
	◇識名園友遊会	169
	◇真和志地区地域活性委員会	170
	◇はんたがわ新春もちつき会	171
	◇公民館フリースペース活用事業	172
	◇豆腐の月	173
〔2〕	学社融合事業	
	◇キャリア教育プロジェクト	174
〔3〕	プロポーザル事業	
	◇コミュニティ支援『地域計画 教育部会』	175
	◇コミュニティ支援『地域計画 福祉・防災部』	176
	◇コミュニティ支援『グローバル公民館』エジプトとグローバルミーティング	177
7	公民館まつり	178

1 学習風景



市民講座
【今知りたい社会で話題になっていること】
（AI の魔法を体験しよう）



健康講座
【ZUMBA でエクササイズ】



少年教室
【はんだがわプレーパーク】



コミュニティ支援【地域計画教育部】
春休みイベント（木工豆皿づくり）



学社融合事業
【キャリア教育プロジェクト】



コミュニティ支援
【地域計画福祉・防災部】

2 成人一般対象事業

〔1〕市民講座

講座名 タイトル		「今知りたい社会で話題になっていること」								
事業概要		連続講座で平和・AI・資産形成・伝統文化について考える場を設ける。 ロビーのリノベーション事業と連動し、関連の掲示も同時期に行う。								
現状・課題		・平和学習は行われているが、沖縄戦を題材としたモノが多い。 ・世界中で難民問題が起こっている。 ・少子高齢化や物価上昇のなどお金を取り巻く環境が変化している。 ・生成AIのような新しい技術の発展に個人についていくことが難しく危険性も孕んでいる。 正しい知識を得て安全に使いこなしたいというニーズがある。								
事業目的 めざす姿		・近年、世界中で起こっている出来事を題材にすることで平和学習の新しいを構築する。また、世界を知ることによって沖縄戦について改めて考える機会を創造する。 ・参加者に生成AIについて正しい知識や基本的な技術を身につけてもらい、作品を展示して地域住民が生成AIを身近に感じる機会とする。 ・資産運用を学ぶことで、生活の見直しや人生を豊かにするきっかけとする。								
対象		興味関心のある人								
募集人数等		定員なし				参加延べ 125人				
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン
	01	8月4日(日)	14:00	～	17:00	繁多川公民館実習室	13	4	9	－
	02	8月30日(金)	19:30	～	21:00	オンライン	9	0	9	9
	03	11月16日(土)	13:00	～	15:00	繁多川公民館研修室1	3	0	3	－
	04	1月25日(土)	14:00	～	16:30	繁多川公民館ホール	100	40	60	－
内容	01	生成AIの基本を学び、ChatGPT等の生成AIを実際に使った実習を行う								
	02	「世界人道の日」の説明。JICA職員による講話、参加者同士での意見交換								
	03	金融リテラシーを学び、お金の基本や制度の仕組み、投資方法を学ぶ								
	04	大西賜夫氏の講演会、長堂茂氏とのトークセッション、島豆腐の販売など								
講師		若月万平（JICA沖縄）、シリア人留学生、島袋 邦広（ソニー生命）、山口 光士（CoderDojo浦添 代表）、大西賜夫（映画監督、作家）								
【講座の様子・感想】										
・国際人道法を私は初めて知りました。日本に住んでいてあまり宗教や民族の文化、政権への不満、領土・資源の奪い合いで戦争が起きると初めて知りました。それぞれの価値観や個性で戦争がなくなればいいと思います。（世界人道の日） ・とても良い話が聞けて嬉しかった。難しい所もあったけど、シュミレーションで実際自分がどのくらい得できるのかイメージ出来た。（資産運用）										
【成果】										
・世界で起こっている出来事を身近に感じ平和について今一度考える機会となった。（世界人道の日） ・参加者が実際に資産運用を実施（資産運用） ・参加者が文章、画像、音楽、動画を実際に生成AIを使って作成し、互いに発表してさまざまな活用の仕方を学ぶことができた。（AI） ・実行委員会形式で企画、運営を行ったことで、様々な人を巻き込むことができた。										







2 成人一般対象事業

〔2〕健康講座

講座名 タイトル		ZUMBAでエクササイズ							
事業概要		楽しく体を動かすことにより、心身がリフレッシュされZUMBAクラスの特徴であるConnection～つながり～効果を生かし参加者同士の繋がりを深め、市民の健康に寄与する							
現状・課題		運動不足は市民の大きな課題。又、ZUMBAの知名度は低い。							
事業目的 めざす姿		20代～40代の参加が3割いる。 アンケートより、サークル化希望の意見がある。							
対象		16歳以上で運動制限のない方及び那覇市在住・在勤の人							
募集人数等		定員なし 申込 17人				参加延べ 17人			
日時 場所	回	期日	開始 ～ 終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン	
	01	3月23日(日)	11:00 ～ 13:00	繁多川公民館3階ホール	17	2	15	0	
内容	01	ZUMBAを通して楽しくカラダを動かし健康を目指す。							
講師		津波美奈子、林仁美（ZUMBA資格保持者）							
【講座の様子・感想】 ・ 沢山のひとと踊るのはとても気持ちがいいです。 ・ ハードに感じました。やっている内になれるのかもですが・・・ ・ アンケート結果（満足度）90% 									
【成果】 ・ 運動が楽しかったとの声が多かった。 ・ 当日申込みが12名の為、改善が必要。 ・ 7割の方がまた参加したいとの声があった。 ・ リズム感の無さを感じてると自覚している。 									

3 高齢者対象事業

〔1〕高齢者学級

講座名 タイトル		高齢者学級講座「高齢者の為のスマホ体験講座」								
事業概要		今年4月に沖縄で起きた津波騒動の際、素早く正しい情報の流通の大切さを改めて実感した。そして、地域住民への情報流通網の不在も改めて確認された。特に情報弱者とみられる高齢者への素早い情報提供は、命を守るためにも今後より必要になるだろう。 今回、高齢者を対象に企業と連携した「スマートフォン体験講座」を開催する。さらに古島自治会、包括支援センター松島と連携することで、講座後の地域連絡網の構築へと波及させる。また、情報弱者を取り残さない為、古島自治会、包括支援センター松島が定期的に無料講座を継続するためのきっかけとする。最後にアンケートを実施し、地域で行ってほしいこと、解決してほしいことなどを伺い、繁多川公民館講座や、自治会の取り組みに反映させる。								
現状・課題		古島地域には、ICTによるインフラがあまりない。早急に連絡できるツールがない。								
事業目的 めざす姿		ICTを使いこなすことが難しい世代にまずはスマホから繋がりを作り、古島自治会、包括支援センター松島とネットワークを構築する。その先に、地域情報、緊急連絡など、幅広い情報を提供する事をめざす。								
対 象		那覇市再住、在勤の65歳以上								
募集人数等		定員 20人 申込 12人 参加延べ 12人 【申込率60%・参加率100%】								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン
	01	2月21日(金)	11:30	～	14:00	地域包括支援センター松島	12	6	6	0
内容	01	スマホのアプリを使った脳トレや体操。使い方の相談。古島自治会公式LINE登録。								
講 師		ソフトバンク株式会社								
【講座の様子・感想】										
受講生の声・様子										
・とても良い講座でした。特に高齢者には必要だと思います。 ・お隣の参加者が「アプリとは？」アプリの説明が必要。無料とかお金が要るとか。 ・アンケート結果（満足度）100%										
										
【成果】										
・闇バイトなどの治安悪化、災害の増など、防犯防災の上でICTでの連絡網はとても重要だ。 ・包括支援センター松島さんの繋がりから、地域の高齢者へ告知する事ができた。 ・包括支援センター松島とつながりのある方々が主な参加者で、地域の高齢者という狙い通りの対象者の参加となった。 ・古島自治会の公式LINEに参加者の半数以上の方が登録した。										
										

4 青少年対象事業

〔1〕少年教室

講座名 タイトル		はんたがわプレーパーク							
事業概要		「自分の責任で自由に遊ぶ」をモットーに、身近な自然の素材や廃材、道具を使って子どもたちが自分で遊びを創り出すことのできる遊び場を提供し、子どもたちの自主性や冒険心を育むことを目指す。同時に、親を含めた地域の幅広い世代が集い交流しながら互いに技術や知恵を学びあったり情報交換して地域のつながりを深める場とする。							
現状・課題		・公園でボール遊びや木登り等の禁止事項が増え、子どもたちが自由に遊べる場所が減ってきている。 ・外遊びの機会が減り、身体を動かしたり五感をとぎすますような体験が不足している。 ・子どもたちが地域に出歩く機会が減ることで地域のおとなとの交流が少なくなりつつある。							
事業目的 めざす姿		・プレーパークの遊びを通じて子どもたちの自主性や冒険心を育み、一緒に遊び見守る保護者や地域住民の交流の場となる。 ・継続していくことで、地域で世代を超えた顔見知りが増え、お互いに見守りあう意識を持てるようになり地域の安心安全につなげる。							
対象		赤ちゃんからお年寄りまで、どなたでも							
募集人数等		定員なし 参加延べ 685人							
日時 場所	回	期日	開始 ～ 終了		実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン
	01	4月27日～2月22日	9:30 ～ 12:30		公民館広場	299	-	-	-
	02	7月20日～11月16日	9:30 ～ 12:30		大神公園/童夢認定こども園/識名老人福祉センター/松川公園	186	-	-	-
	03	1月5日～3月23日	9:30 ～ 12:30		奥武山公園	160	-	-	-
	04	1月19日(日)	9:30 ～ 12:30		沖縄女子短期大学	40	-	-	-
内容	01	木工遊び、どろんこ遊び、水遊び、ロープ遊び、昔遊び、火起こし、ムーチー作り等							
	02	出張プレーパーク（木工遊び、どろんこ遊び、水遊び、ロープ遊び、昔遊び、しゃぼん玉等）							
	03	プレーパークへの道具貸出（昔遊び、ロープ遊び、しゃぼん玉、木工遊び等）							
	04	こどもの遊びを考えるプレーパークシンポジウム							
講師		なし							
【講座の様子・感想】 ・ドラム缶に乗るの最初はこわかったけど、できるようになってうれしかった ・竹とんぼをみんなで飛ばして競争したのが楽しかった、公園でまたやってほしい ・アンケート結果（満足度）98%									
【成果】 ・今年度は古島自治会や三原区自治会、協働大学院の真和志チームなどと連携して出張開催することができた。 ・公民館での開催では、リピート参加してくれる親子もいて地域で定着してきていると感じる一方で、初めての参加で「こんな遊び場があるんですね」と驚かれる保護者も多い。 ・子どもは幼児から小学校中学年までの参加がもっとも多く、中高生はボランティアとして一緒に遊びながら安全見守り等の役割を果たしてくれている。また子どもの保護者は父母や祖父母など性別や年齢を問わず多様な地域住民の交流の場となった。									





4 青少年対象事業

〔2〕青年講座

講座名 タイトル		繁多川公民館 おたすけ隊&インターン					
事業概要		地域の中・高校生、大学生を対象に、公民館や地域のボランティア活動を経験する機会を提供する。学校生活では経験できない、さまざまな世代との関わりの中で社会性を育み、また他者から認められることによって、子どもたちの自己肯定感の向上や意欲につながる機会とする。また、子どもたち自身が、自分のやりたいこと・興味のあることを見つけてチャレンジできる機会をつくり、将来の地域を担う人材の育成に寄与することを目指す。					
現状・課題		・中高生、大学生が地域社会に出て活動する機会が少なく、さまざまな人と出会い新しい経験をすることが難しくなっている。 ・地域の自治会などは加入率が低迷していて人材不足に悩み、若い世代との交流を求めている。					
事業目的 めざす姿		・多様なボランティア活動の機会をつくり、参加者が自主的に活動を選んで活動し、自己有用感を感じてもらう。新しい自分の一面や知らなかった地域、おとなとの出会いを経験することで、次の活動やチャレンジにつなげる。 ・地域の自治会のボランティア要請とマッチングして、子どもたちと地域の良い関係性をつくるきっかけとする。 ・ボランティア活動に参加した中・高校生が日常的に公民館を利用ようになる。					
対象		那覇市在住、在学の中・高校生・大学生					
募集人数等		定員なし 参加延べ 417人					
日時 場所	回	期日	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン
	01	5月15日～2月22日	繁多川公民館	206	-	-	-
	02	5月～2月	松川共同住宅	211	-	-	-
内容	01	・公民館の日常業務の手伝い（館内整備、学習サポート等） ・公民館講座のサポート ・地域行事の運営お手伝い ・子どもたち自身が自分の興味のあること、やってみたいことにチャレンジ					
	02	・松川共同住宅自治会のお手伝い、住民との交流					
講師		なし					
【講座の様子・感想】		・地域の人と色々なことで協力して笑い合ってた楽しかったです！ ・繁多川公民館のボランティア活動をして、自分から誰かを助けられるようになりたいと思いました。 ・アンケート結果（満足度）100%					
【成果】		・たくさんの中高生や大学生に、公民館事業や地域イベントにおいてボランティア活動をする機会を提供することができた。1回だけの参加で終わらず、2回目、3回目と積極的に参加してくれる子も多かった。 ・回を重ねるごとに周りの人との関係性を構築してより積極的になっていたり、前回学んだことを生かしてさらにチャレンジしたり未経験者に教えたりなどステップアップしている様子も見られた。 ・地域の高齢者には特に喜ばれ、心温まる差し入れや想いのやりとりもあり、交流できたことも良かった。					



5 家庭教育事業

〔1〕家庭教育学級

講座名 タイトル		繁多川おやこそだて園							
事業概要		乳幼児の子どもと親を対象に地域の保育園と連携して公民館で出張保育を行い、親子で楽しめるプログラムの提供							
現状・課題		・待機児童の親子や家庭保育をしている親子の居場所が少ない ・子育て世代の悩みや相談できる窓口が身近ではない ・子育て中でもつながりを感じたりチャレンジできる機会が少ない							
事業目的 めざす姿		子育て世代が地域に関わる機会をつくり、事業終了後も継続して公民館や地域につながりを持ち続けられる。また、子育て世代が自分のやりたいことや関心のあることにチャレンジできる。							
対 象		0歳～5歳（未就学）までの親子							
募集人数等		定員なし 参加延べ 141人							
日時 場所	回	期日	開始 ～ 終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン	
	01	4月17日(水)	10:00 ～ 12:00	繁多川公民館実習室	15	-	-	-	
	02	6月～2月	10:00 ～ 12:00	繁多川公民館和室	110	-	-	-	
	03	12月19日(木)	10:00 ～ 12:00	繁多川公民館和室	16	-	-	-	
内 容	01	みそづくり							
	02	保育あそび(手遊び、季節の製作、読み聞かせなど)、保育の相談等							
	03	ハーブとアロマの講座							
講 師		スプレーグなおこ（みそづくり）、上間美穂子（ハーブとアロマ）							
【講座の様子・感想】 ・回を重ねるごとに参加している親子が顔見知りになり、子育てのことについて話したり、情報交換をする様子が見られた。 ・保育園のことや子育てのことを保育士さんに相談できるのありがたいとの声があった。 ・特別企画は子どもと一緒に参加できて嬉しいとの声があった。 ・アンケート結果（満足度90%）									
【成果】 ・昨年度と比較すると開催回数が少なかったため、全体的な参加者数は減少した。 ・特別企画を2回行うことができ、参加者のニーズに答えることができた。 ・講座に参加した親子が、その後別の公民館主催の講座に参加したり、日常的に公民館に立ち寄ってくれる姿があった。									







6 その他の事業

〔1〕地域連携事業

講座名 タイトル		あたいぐわープロジェクト（上間小学校／真地小学校／識名小学校）								
事業概要		「昔ながらのゆし豆腐作り体験」をする中で、地域の方々と交流をしながら地域文化を学び、食文化の継承（歴史・味・製造工程など）とさらなる地域の活性化に寄与する。								
現状・課題		・学校と地域との連携が希薄化。 ・子どもたちが地域のことを知る機会、関わりが減っている ・学校教育の中で地域の学び（授業）をする機会が少ない								
事業目的 めざす姿		3学年のゆし豆腐づくりを通して、子どもたちが主体的に学び、地域について知ることによって愛着を感じ、地域に対し誇りを持つ心を育む。また、地域の学びが学校教育の中で継続・発展していくことで地域に開かれた学校教育を目指す。								
対象		3学年及び保護者								
募集人数等		定員なし 参加延べ 1314人								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン
	01	11月20日～11月22日	8:30	～	12:30	上間小学校家庭科室	131	－	－	－
	02	11月26日～11月28日	8:30	～	12:30	真地小学校家庭科室	113	－	－	－
	03	4月～2月				識名小学校	1070	－	－	－
内容	01	上間小学校 3 学年 総合学習事業 昔ながらのゆし豆腐づくり体験								
	02	真地小学校 3 学年 総合学習事業 昔ながらのゆし豆腐づくり体験								
	03	識名小学校3学年 総合学習事業 昔ながらのゆし豆腐づくり体験・地域学習								
講師		大城健正（公民館職員）、あたいぐわープロジェクトメンバーなど								
【講座の様子・感想】 ・子ども達や自治会の方々も楽しみながら、ゆし豆腐づくり体験を行っていた。 ・年間通して学ぶことで、先生自身の学びの幅が広がり、授業への取り組み方も変わってきた。 ・子どもたちが学ぶことの楽しさを感じ、自ら進んで調べたり疑問を解決していく力をつけてきている。 ・関わってくれた地域の方が、イキイキと子どもたちへ話し、嬉しそうな様子が見られた。										
【成果】 ・授業で関わった子どもたちが、その後地域に興味をもち公民館へ訪れる様子が見られた。 ・地域の学びが学校教育の中に継続して実施できる関係性が蓄積できた。 ・地域の方も子どもとの関わりの中で、「地域と学校がともに子どもたちを育む」ことのきっかけづくりができた。										





6 その他の事業

〔1〕地域連携事業

講座名 タイトル		識名園友遊会								
事業概要		本会は、真和志地域の誇りである世界遺産・国指定特別名勝「識名園」を主会場として活用し、青少年団体等による伝統芸能の発表等で構成するまつり「識名園友遊会」の開催を通して、真和志地域における伝統文化の継承と新しい文化の創造、青少年の健全育成と地域の活性化及び文化財保護の啓発を図ることを目的とする。								
現状・課題		会を運営していく組織の強化が必要で、当日運営のスタッフの充実も課題。また友遊会へのお客さん増も課題。								
事業目的 めざす姿		真和志地域の自治会、高校と連携し、世界遺産識名園の啓発と、青少年の健全育成企画、地域芸能の継承に寄与したイベント。								
対象		どなたでも								
募集人数等		定員なし 参加延べ 860人								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン
	01	7月10日(水)	18:30	～	19:30	真和志支所	20	19	1	－
	02	11月13日(水)	18:30	～	19:30	繁多川公民館	20	19	1	－
	03	2月18日(火)	18:00	～	19:00	繁多川公民館	10	9	1	－
	04	11月11日～12月11日				識名園	30	3	27	－
	05	11月30日(土)	11:00	～	16:00	識名園	780	－	－	－
内容	01	第1回実行委員会								
	02	第2回実行委員会								
	03	第3回実行委員会								
	04	高校生ガイド養成研修、三線教室								
	05	識名園内で真和志地域の伝統芸能の演舞、真和志高校生による識名園案内、三線、絵手紙の体験教室、駐車場での出店での飲食販売								
講師		なし								
【講座の様子・感想】 ・真和志高校と行った、高校生による識名園案内はとても好評で、とても良かったとのお声をいただいた。お客さんも前年度以上の来園があり、大いに盛り上がった。										
【成果】 ・青少年育成の観点で、真和志高校と継続的にできる取り組みは評判であった。地域芸能の発表の場として、識名園内での演舞は、沢山のお客さんに見ていただいた。 ・地域の方々と盛り上げる会を目指し、真和志37自治会へのチラシ配布や、那覇大綱挽懇親会や、那覇市自治会長会連合会研修での告知を行い、沢山の来園者に繋がった。 ・地域の高校との連携が次回も可能で、より青少年育成に繋がる体制となった。また、いまいパンとの識名園での協働売店経営から、参加自治会との新しい組織体制への移行が望めそうで、目指す形に近づいている。										





6 その他の事業

〔1〕地域連携事業

講座名 タイトル		真和志地区地域活性委員会								
事業概要		本会は真和志地区の自治会及び本会の目的に賛同する、企業、関係機関等、相互の連絡提携や学習活動等を通して、真和志地区の教育力の向上を図ると共に、青少年の健全育成、地域の後継者育成、高齢者の生きがいづくり、及び豊かで明るい家庭・地域づくりに寄与することを目的とする。								
現状・課題		自治会の大きな課題である、後継者育成、若者不足。それらへのアプローチとして、若年層に向けた助成金創設のための資金増資事業を行っている。								
事業目的 めざす姿		委員会に参加する、自治会、行政、公民館、包括支援センター、企業等で、自治会を通して、地域課題を解消するため行動していく団体を目指す								
対象		真和志地域の自治会、企業、公民館、包括支援センター、行政等								
募集人数等		定員なし				参加延べ 112人				
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン
	01	5月21日(火)	18:00	～	19:00	真和志支所	12	10	2	0
	02	11月2日(土)	10:00	～	17:00	沖縄大学	100	-	-	-
内容	01	今年度の方向性を決める。赤マルソウとのコラボ事業の確定。								
	02	沖縄大学大学祭にて、赤マルソウ、いまいパン、高速印刷と資金造成出店								
講師		なし								
【講座の様子・感想】 ・沖縄大学大学祭に、地域からの出店は初めて。地域と連携を深めたいと考えていた大学としてはとても大きな一歩目になった。（沖縄大学） ・コラボ事業を通して、企業として地域に根付く取り組みができてとても良かった、次年度も継続したい。（赤マルソウ）										
【成果】 ・自治会の大きな課題である、後継者育成という点に取り組んでいる中で、助成金から若年層にアプローチするのは大事。その上で、若者と繋がっている企業や沖縄大学と連携事業ができたのは大きい一歩だ。 ・赤マルソウとの事業は、自治会員以外の広報ができたのもっと良かったと思う、次年度の課題だ。 ・自治会と自治会員を対象に赤マルソウ連携事業を行った。 ・資金造成ができた。次年度の助成金へ繋がった。 ・事業をもっと良くするには、という意見が少しずつ出てきた。										





6 その他の事業

〔1〕地域連携事業

講座名 タイトル		「はんたがわ新春もちつき会」								
事業概要		日本の新年の行事である「新春もちつき」を通して多世代の交流の場などを生み出す。また、運営を若者が行うことで若者の活躍できる場を提供する。								
現状・課題		・若者が主体となり活躍する場が少ない ・日本の文化に触れる機会が少ない ・地域で活躍している団体などの発表の場が少ない								
事業目的 めざす姿		地域で活動する団体や若者たちと連携して、地域の人々が交流を深めることのできる「新春もちつき会」を開催し、地域力の活性化をめざす。また、地域や近隣で健全育成や文化継承を行っている団体に、活動発表の場を提供し、今後の活動の発展を願い、来館者が伝統文化に触れる機会とする。								
対象		どなたでも								
募集人数等		定員なし				参加延べ 287人				
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン
	01	1月6日(月)	16:00	～	17:00	繁多川公民館実習室	37	-	-	-
	02	1月11日(土)	10:00	～	12:00	繁多川公民館ホール	250	-	-	-
内容	01	ボランティア説明会・事前準備								
	02	新春もちつき会								
講師		なし								
【講座の様子・感想】 ・初めて自分でお餅をつく経験ができてとても嬉しかったです。 ・つきたてのお餅はとても美味しく、何回もおかわりして食べました。 ・友達同士だけでなく、三世代での来場者も多く多世代交流の場にもなった。 										
【成果】 ・地域の中高生が主体となり、自治会の皆さんとも一緒に運営を行った。 ・地域で活躍している子ども会のエイサー団体に、オープニングエイサーを踊っていただき、披露する場として、新メンバーの勧誘の場ともなった。 ・地域の中学校の部活動が九州大会出場のために資金造成を会場内で行い、地域の方々に子ども達が部活動を頑張っている姿を知ってもらう機会となった。また、地域も応援しているという思いも子ども達に伝わる機会となった。 										



6 その他の事業

〔1〕地域連携事業

講座名 タイトル		公民館フリースペース活用事業						
事業概要		地域住民の交流の場と情報交換ならびにコミュニケーションを深める場として、各人・各学校・団体等の作品発表の場とする。 また、作品発表だけではなく公民館内のスペースの日常的な活用やイベントの開催などを行い、公民館を広く知ってもらうきっかけとする。						
現状・課題		・個人や学校、団体等の作品の発表の場が少ない ・公民館を知らない人が多い						
事業目的 めざす姿		・個人や学校、団体等の作品が展示され、そこから地域住民同士の交流を生み出す場となる ・ロビーなどの展示や掲示を通して公民館への関心が高まる						
対象		関心のある人						
募集人数等		定員なし 参加延べ 3667人						
日時 場所	回	期日	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン	
	01	4月～3月	繁多川公民館 2 階ロビー、3 階ホワイエ	3667	-	-	-	
内容	01	季節展示や企画展示、個人の持ち込み展示を行う。また、ロビーの利活用を促進する。						
講師		なし						
【講座の様子・感想】 ・いのちは一つしかないのに、こんなことをするなんてひどすぎる。もし戦争で勝ったとしても、誰一人喜ばない。絶対戦争はしてはならない。（平和関連展示） ・こんなに立派なひな人形を飾っているなんてすごい。季節を感じられていい。（季節展） 								
【成果】 ・季節展や企画展を通して、沢山の方が様々なことに関心を寄せることに寄与できた。 ・展示を目当てに初めて来館された方もいた。 ・持ち込み展示もあり、地域の皆さんに活用される仕組みづくりができた。 								

6 その他の事業

〔1〕地域連携事業

講座名 タイトル		豆腐の月							
事業概要		昔、繁多川は3件に1件が豆腐づくりを行っていた豆腐処。現在は3件しかなく、豆腐処繁多川を継承する為、自治会と協力し地域の場づくりと食文化の継承を行う。							
現状・課題		ご近所付き合いが希薄							
事業目的 めざす姿		自治会活動を通して、顔見知りの関係性を創る							
対象		どなたでも							
募集人数等		定員なし				参加延べ 200人			
日時 場所	回	期日	開始 ～ 終了		実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン
	01	12月7日(土)	9:00 ～ 14:00		繁多川公民館広場	200	-	-	-
内容	01	昔ながらの豆腐づくり体験及び、試食会							
講師		なし							
【講座の様子・感想】 ・出来立てのゆし豆腐はとても美味しかった ・ゆし豆腐ができるまでの行程が勉強になった ・生憎の雨で、体験コーナー（脱穀体験・水運び体験）を縮小せざるを得なかった ・今では販売していない、豆腐屋さんが作る豆腐団子の復活があり、美味しく頂いた									
【成果】 ・多くの地域の方が参加した ・広報の仕方は妥当と思う ・200名程の地域の方が参加された ・参加者同志のコミュニケーションがみられた									





6 その他の事業

〔2〕学社融合事業

講座名 タイトル		キャリア教育プロジェクト							
事業概要		・平和学習コーディネート ・お仕事先生コーディネート ・総合学習コーディネート							
現状・課題		・戦争体験者の減少や高齢化による平和学習の継続困難。 ・多様な働き方や生き方があるが、出会いや体験活動不足によるキャリア形成の困難化。 ・教員不足により教員が忙しく、探究学習への意欲の低下。							
事業目的 めざす姿		地域の方や企業の方の体験談を話す事によって、個人の視野を広げ今後の進路に役立てるきっかけとなる。 文化を学び地域散策などを通して、地域への親しみを感じ、地域の活性化に寄与する。							
対象		近隣小・中・高校生							
募集人数等		定員なし 参加延べ 1911人							
日時 場所	回	期日	開始 ～ 終了		実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン
	01	6月7日～2月17日			石田中学校	1151	-	-	-
	02	5月13日～12月10日			松城中学校	241	-	-	-
	03	7月12日(金)	14:30	～ 15:30	寄宮中学校	165	-	-	-
	04	10月4日～1月29日			識名小学校	342	-	-	-
	05	3月12日(水)	13:00	～ 14:00	那覇みらい特別支援学校	12	-	-	-
内容	01	平和学習、課題解決型学習、地域学習、家庭科授業コーディネート							
	02	地域課題解決型学習							
	03	企業人講話							
	04	運動会エイサー指導、授業コーディネート							
	05	就労体験（在来大豆栽培及び加工）							
講師		地域企業、企業人、自治会など							
【講座の様子・感想】 ・住んでいる地域のことが分かってよかったです。今と昔の人口が違うことなど、沢山学ぶことができました。（石田中学校2学年生徒） ・小学生がSDGsについて調べていて、そのことを工夫しながら教えてくれたのがよかったです。（講師）									
【成果】 ・前年度に引き続き、学校からの依頼が多数あった。 ・今年度からは、課題解決型の探究学習を行った。 ・生徒が主体性をもって授業に取り組む仕組みができた。 ・活動を知った他の学校からの次年度の相談などの問い合わせがあり、近隣に波及効果を見せている。									







6 その他の事業

〔3〕プロポーザル事業

講座名 タイトル		地域計画 教育部会								
事業概要		子どもや家庭が安全・安心に過ごせる居場所として地域が自らの手で課題解決に寄与する。また、識名小校区を中心に子どもと家庭を支援するネットワーク＝識名小放課後子ども総合プラン会議の連携を深めながら、地域の課題の把握と解決につながる事業の実施を進めていく。								
現状・課題		沖縄県子どもの貧困率は約30%、小中学校の不登校は7000人を超え、過去最多を更新している状況の中、地域の子どもたちが安心して過ごせる場所や人とのつながりが希薄化している。また、保護者も悩みを抱え孤立し、様々な問題へ発展してきている。								
事業目的 めざす姿		地域と学校が連携して、それぞれが抱える課題や取組みたいことを話し合い、実践していくことで「地域の子どもは地域で育てる」セーフティーネットづくりの実現を目指す。								
対象		0歳～5歳（未就学）までの親子、近隣の小中学生など								
募集人数等		定員なし				参加延べ 302人				
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン
	01	7月5日(金)	10:00	～	11:30	識名小学校 家庭科室	23	-	-	-
	02	3月12日(水)	10:00	～	11:30	識名小学校 家庭科室	13	-	-	-
	03	7月～3月				繁多川公民館	250	-	-	-
	04	1月20日(土)	10:00	～	15:00	若夏学院	16	-	-	-
内容	01	第1回識名小放課後子ども総合プラン会議								
	02	第2回識名小放課後子ども総合プラン会議								
	03	長期休み(夏・秋・春休み)特別企画								
	04	性教育講演会								
講師		玉城春香（イラスト）、繁多川婦人会（おやつ作り）、日本赤十字社沖縄県支部職員など								
【講座の様子・感想】										
・ 識名小校区を対象とした「識名小放課後子ども総合プラン会議」では、学校と地域の子どもに関わる皆さんが集まり、お互いの情報交換をしながら、取組みたいことや改善したいことなど闊達な意見交換をすることができた。 ・ 長期休みに実施している子どもを対象とした特別企画では、多くの親子や子どもの参加があり、地域の拠点である公民館とのつながりや多世代との交流を通して相互の学びもできた。										
【成果】										
・ 長期休みの際に開催しているイラスト教室がサークル化となり、その後も活動が継続している。 ・ プラン会議の参加者が主体的に話し合い、子どもたちにとって安全・安心に過ごせる学校・地域づくりが広がりを見せつつある。										



6 その他の事業

〔3〕プロポーザル事業

講座名 タイトル		コミュニティ支援『地域計画 福祉・防災部会』						
事業概要		・ゆんたくはんたく市場を実施希望の場所で開催する ・学校と連携し、防災の取り組みを行う ・火を囲んでユンタク会を開催し、異世代が交流し新たなチャレンジが生まれる場の提供を行う ・繁多川以外の真和志地域の自治会や包括と連携し、地域計画の仕組みを波及させる。						
現状・課題		少子高齢化の中、財政の厳しさも増し、公共が担い続けられる事業も縮小傾向にある。また、新型コロナウイルス感染症の流行を経て、さらに高齢者の孤立、孤独死、多くの課題を抱える家庭、正社員やフルタイムで働いているにも関わらず、生活保護の水準以下しか収入が得られない働く貧困層「ワーキングプア」などが浮き彫りになった。						
事業目的 めざす姿		地域課題を住民自らの手で解決できるような仕組みづくりを福祉や防災の観点から寄与する。						
対 象		どなたでも						
募集人数等		定員なし 参加延べ 445人						
日時 場所	回	期日	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン	
	01	4月～3月	繁多川公民館	181	-	-	-	
	02	4月～3月	童夢認定こども園、那覇市老人福祉センター、県営繁多川高層住宅、繁多川公民館	158	-	-	-	
	03	4月～3月	識名小学校、繁多川公民館、地域包括支援センター繁多川	76	-	-	-	
	04	4月～3月	沖縄工業高校、松川小学校地域連携室	30	-	-	-	
内容	01	定例ミーティング、はじまりの日、策定会議、火を囲む会など						
	02	ゆんたくはんたく市場						
	03	プチ避難所体験、在宅避難のための備蓄を考える、防災カフェ						
	04	まちなみ整備課主催「ゆんたく会」への参加、協力						
講 師		有村博勝（防災士）						
【講座の様子・感想】		・多世代が交流できるプログラムがあってよかった。また、開催場所として活用して欲しい。（ゆんたくはんたく市場 開催場所関係者） ・テント設営は1人でできないので事前に学ぶことで今後に生かせると思う。（プチ避難所体験 参加者）						
【成果】		・継続事業だけではなく、昨年の受講者からの持ち込み企画などにも協力し、地域全体で防災や福祉について考える機会を設けることができた。 ・広報については、まだ課題も残っているが定期ミーティングや市民へのヒアリングを行い、市民の皆さんへ情報を届けていきたい。						

6 その他の事業

〔3〕プロポーザル事業

講座名 タイトル		コミュニティー支援グローバル公民館エジプトとグローバルミーティング								
事業概要		合同オンライン講座は、エジプトの担当者と打ち合わせを重ねて、テーマや時期、内容などは決める。 学校と連携し、授業でエジプト現地の方と交流できるような仕組みをつくる。								
現状・課題		「アラブの春」後の民主化が起こったエジプトで、日本の民主化を支えた公民館設立を行った。現地に合う形で公民館の運営を支援し、活用の幅を広げ社会教育を推進する。								
事業目的 めざす姿		合同講座グローバル公民館を開講し、相互のまなびあいを通してグローバル人材の育成とする。								
対 象		どなたでも								
募集人数等		定員なし				参加延べ 71人				
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン
	01	5月24日(金)	16:00	～	18:00	繁多川公民館/オンライン	44	-	-	44
	02	8月9日(金)	16:00	～	18:00	繁多川公民館/オンライン	1	-	-	1
	03	8月20日(火)	16:00	～	18:00	繁多川公民館/オンライン	6	-	-	6
	04	2月14日(金)	17:30	～	18:30	オンライン	20	-	-	20
内容	01	日本型教育の特徴を確認するとともに学校内での社会教育Tokkatsuと地域の社会教育を実践する公民館等との連携を考える								
	02	けん玉検定を行うことで、エジプトでのけん玉の普及に寄与する。								
	03	イラスト教室の参加者とエジプトのイラストが得意な青年とがイラストを通して交流する。								
	04	岡山の公民館や行政とエジプト公民館をオンラインでつなぎ情報交換を行う。								
講 師		小林拓也（けん玉講師）								
【講座の様子・感想】										
- 外国の人にイラストを通して、日本を紹介することができてよかった。 - 自分の描いた絵が相手に伝わってよかった。										
【成果】										
- イラストやけん玉を通して、文化交流することができた。 - 日本式教育を通してエジプトの教育の在り方を考える機会を設けることができ、沖縄の教育関係者とエジプトの教育関係者がディスカッションすることができた。										





7 公民館まつり



第18回

繁多川公民館まつり ～利用団体連絡会成果発表会～ 2024年12月7日(土)

舞台の部

13:30～16:30

- ・三線
- ・民踊
- ・エイサー
- ・ギター
- ・フラダンス 等
- ・詩吟
- ・合唱
- ・体操

展示・体験の部

12:00～16:30

- ・裁縫作品
- ・書道作品
- ・真和志高生作品
- ・活動内容紹介
- ・ハーブオイルづくり
- ・アロマジェルづくり等

販売の部

12:00～

売り切れ次第終了

- ・カレーライス
- ・沖縄そば
- ・ぜんざい
- ・野菜
- ・パン、焼き菓子
- ・レースたわし、雑貨 等

展示・体験・販売 出店者一覧

- ・書道サークル大倫
- ・男の食ッキング
- ・サークル円
- ・のびのび体操
- ・はんどinはんど
- ・オリーブの木
- ・沖縄県立真和志高等学校
- ・子どもの居場所
- ・（保護者のつどいの場 またおカフェ）
- ・石田フェニックススターズ バレーボールクラブ
- ・那覇市包括支援センター繁多川
- ・真和志第三民生委員児童委員協議会
- ・ビブリオサポートいずみ
- ・ハーブサークル カモミール
- ・那覇市まちなみ整備課
- ・いまいパン
- ・Kukulu
- ・（一社）いろは
- ・シニアのパソコン

※舞台の部は裏面をご覧ください。

豆腐の月

10:00～12:00

繁多川自治会主催

昔ながらの豆腐づくり体験
ゆし豆腐、ふかしいも、豆腐団子
のふるまいがあります！

12:00～13:00限定で
館長カフェがopen！
館長特製
「トルココーヒー」を
召し上がれ！

大型紙芝居の 読み聞かせ

11:00～11:30

那覇市繁多川図書館

※舞台、出店など変更になる可能性があります。
※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。
※市内線 5番又は14番「繁多川」停留所 徒歩1分
主催：那覇市繁多川公民館利用団体連絡会
共催：那覇市繁多川公民館

お問合せ
那覇市繁多川公民館
TEL:098-917-3448
(平日:9時～17時)

第18回 繁多川公民館まつり

利用団体成果発表会

舞台の部 プログラム (13:30~16:30)

	団体名	内容	予定時間
1	開会のあいさつ	利用団体連絡会 会長 松茂良 毅	13:30
2	繁多川ギターサークル	童神・君をのせて	13:35
3	フラサークル ハープナプナ	フラダンス 曲名：エピリマイ	13:45
寿	ひばりが丘女声コーラス	合唱：①沖縄の月 ②別れの歌	13:55
5	繁多川吟友会	詩吟：青葉の笛ほか	14:05
6	自彊術体操・自彊術健康体操 自彊術土曜サークル	自彊術体操	14:15
7	吉竹流 花乃会	だんな様	14:25
8	繁多川島くとうば会	いろは歌・寸劇	14:35
9	館長あいさつ	繁多川公民館 館長 南 信乃介	14:45
10	繁多川子ども会はばたき	ミルクムナリ・年中口説	14:50
11	合唱団コールフロイデ	合唱：①未来へ ②花のまわりで	15:00
12	繁多川カラオケ教室	うるわしの琉球／山川桂子 百歳音頭／平和勝次	15:10
13	R y u & C o c o	歌（ピアノ弾き語り）	15:20
14	繁多川民踊サークル	めでたい節	15:30
15	KANON三線	唄・三線	15:40
16	キッズ英会話	きらきら星・ジングルベル ほか	15:50
17	利用団体連絡会	会場みんなで踊ろう！「花と花」	16:00
18	閉会のあいさつ	利用団体連絡会 副会長 ローウェン直子	16:10

繁多川公民館まつり 会場案内

3F

【舞台発表】

定期利用サークル、地域団体による舞台発表

【受付】

【記念撮影コーナー】

【展示】

・ 真和志高校 ・ 書道サークル大倫

2F

【展示・体験・販売】

- ・ 男の食ッキング
- ・ いまいパン
- ・ シニアのパソコン
- ・ 時間限定館長カフェ
- ・ ハーブサークル カモミール
- ・ 那覇市地域包括支援センター繁多川
- ・ 真和志第三民生委員児童委員協議会
- ・ 子どもの居場所(保護者のつどいの場またねカフェ)
- ・ サークル円
- ・ 那覇市まちなみ整備課
- ・ Kukulu
- ・ ビブリオサポートいずみ

1F

【販売・体験】

- ・ はんど in はんど
- ・ のびのび体操
- ・ あたいぐわープロジェクト
- ・ 松川クラブ男子バレー部
- ・ オリーブの木（まぁーじ）
- ・ 石田フェニックススターズ バレーボールクラブ
- ・ いまいパン
- ・ (一社)いろは

